



よりよい学級づくりで「人間力」を鍛える

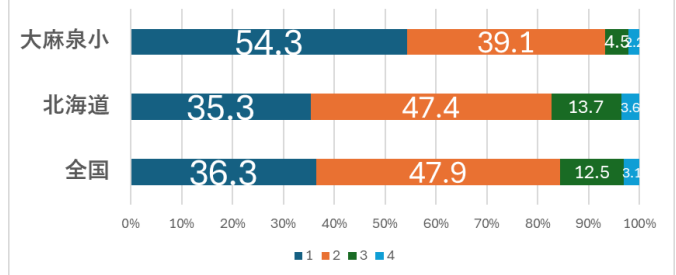
R7.10.29

素敵な数値があります。令和6年4月の6年生（現中学1年生）のアンケート結果です。そう思う(1)、どちらかといえばそう思う(2)を合わせて93.4%（全国比+9.2）という高い数値となっており、どちらかといえばそうわない(3)、そうわない(4)を大きく上回っています。

単なる「学力」ではなく、“よりよい人間関係を築く力”や、“課題の発見力や解決力”を伸ばす活動が、確保されていることを示す好結果です。

本紙でも度々紹介してきたように、日常生活をよりよくする『児童会・委員会活動』、学級や学年集団をよりよくする『企画学習』等、本校の特色ある教育活動が、子どもたちの総合的な力（＝いわゆる「人間力」）を効果的に伸ばしている成果と考えられ、大変うれしく思います。

児童玄関横に、児童会・委員会だより掲示コーナーがあります。全委員会から「泉小をよりよくする提案」が発信され、隣には大麻東小6年発信の『届けよう服のチカラプロジェクト(ユニクロ)』BOXや、本校の『プルタブ回収』BOX等社会貢献活動もあり、“よりよい学校づくり”が“よりよい社会づくり”につながっている実感を届けてくれます。今年のアンケート結果も裏面に掲載します。「代々素敵だ！泉小」毎日思います。（文責：高橋 恒雄）



あなたの学級では、生活をよりよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めていますか（R6年度）



委員会だよりコーナ

「人間力」の育成について

グローバル化やAIの発展、地球温暖化や人口減少など、子どもたちが近い将来出ていく社会（＝世界）は、予測困難でこれまでの常識が通用しない時代へと変わっています。知識や技能習得に加え、対人関係力（コミュニケーション力）や自己調整力などを含む、幅広い「人間力」の育成が求められています。人間力が高い人は、誠実さをもと、柔軟に物事をとらえ、感情をコントロールしながら行動できるのが特徴です。

（出典：『ビジネス基礎力10』村尾佳子著 東洋経済新報社より）

児童のアイデアを活かすよりよい学校づくり



地域から集まったリングプルが、車いすという形になりました。R6 代表委員会



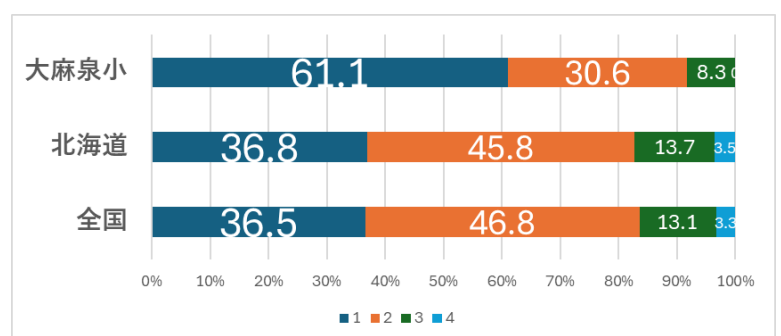
全校児童の気持ちをつなぐ
「あいさつパズル」 R7 代表委員会



あいさつ運動：1年生 R7.10.28
未来のリーダーたち



各委員会の呼びかけに全校で応える：泉小の伝統



あなたの学級では、生活をよりよくするために
学級会で話し合い、解決方法を決めていますか（R7 年度）